

令和7年度 12月の全体集会

令和7年12月24日

貝塚高校校長 川端裕子

今日で長かった第3・4クールが終わります。1年生は初めての文化祭、2年生は修学旅行、3年生は進路決定と、たくさん新しい経験を増やすことができた期間でしたね。

さて、今年度の4月の集会、7月8月の放送による集会では、皆さんに「大切にしてほしい3つのこと」をお話ししてきました。その3つとは「自分を大切にすること」「他人を大切にすること」「学校というパブリックな場を大切にすること」です。今回も2025年の区切りとして、一緒に考えましょう。

1つめ「自分を大切にすること」

これは、わがままに振舞うことでも、好きなことだけを優先することでもありません。自分の心と体をしっかりと見て、必要な栄養を与えてあげることです。必要な栄養を与えるために、きちんと学校に身を置いてください。6時間授業を受け、楽しいこと・しんどいことを経験してください。遅刻や欠席を重ね自分から学びの機会を放棄せず、責任を持って、自分に栄養を与えてあげてください。

2つめは「他人を大切にすること」

最近、言葉や言動があまりにもきつく、乱暴に感じことがあります。言葉は相手を言い負かすためにあるの？自分の正しさを証明するだけの道具なの？と悲しくなることがあります。

言葉はよくも悪くも相手の心に直接届いてしまいます。

嬉しい時に「ありがとう」と伝え、失敗した時に「ごめんなさい」と向き合う、苦しいときに「大丈夫？」と差し出す。言葉は「人と人の間をつなぐためにある」と私は思います。

自由だから何を言っても何をしても良いということではないし、個性だからといって周囲を傷つけてよい理由にはなりません。相手の立場や気持ちを想像し、言葉と行動を選んでください。

3つめは「学校というパブリックな場を大切にすること」

学校は誰か一人のものではありません。多くの人が同じ時間・同じ空間を共有する公共の場です。だからこそ、「自分さえよければいい」という考え方には成り立ちません。貝塚高校は「ともに学びともに育つ」を大切にしている学校です。学ぶ権利は全員にあり、その環境を守る責任も全員にあります。今年、誰かの振る舞いが、別の誰かの安心を奪ってなかったですか？1年振り返り、できしたこと、できなかったこと両方を受け止め、心の大掃除をし、新しい年を迎えるように準備してください。

みんなが気持ちよく「また明日も来よう！」と思える学校であるためには、特別なことをする必要はありません。時間を守る、言葉を選ぶ、パブリックを守る。そうした一つ一つの行動の積み重ねです。ルールである前に、これらを「人としてあたりまえのマナー」と捉えて、身につけてください。

3年生は卒業できるよう、1・2年生は学年の締めくくりができるよう、心と体をゆっくり休めて良い年を迎えてください。1月に皆さんと会えること楽しみにしています。